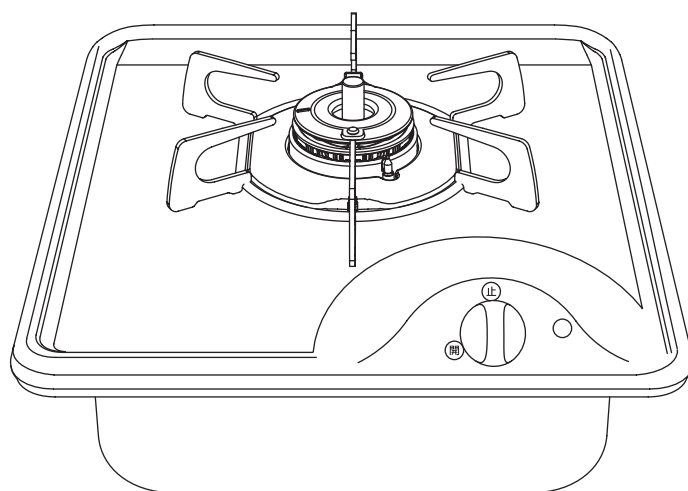
家庭用

ガスビルトインコンロ

取扱説明書 保証書付

代表品名コード	N1C04KSA
型式名	C1C04KS

このたびは、ノーリツのガスビルトインコンロをお買い上げいただき、
まことにありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください

○この取扱説明書は、いつでも利用できる場所に大切に保管してください。
○この取扱説明書の38ページが保証書になっています。お買い上げ日、販売店名、保証内容などをよく確認し、大切に保管してください。
○来客者などが機器を使用するときは、その前に必ず取扱説明書の内容を説明してください。
○この機器は家庭用ですので、業務用のような使いかたをされますと、著しく寿命が短くなります。
○この機器は国内専用です。海外では使用できません。
○本書を紛失された場合や、ご不明な点があれば販売店または、弊社窓口にお問い合わせください。

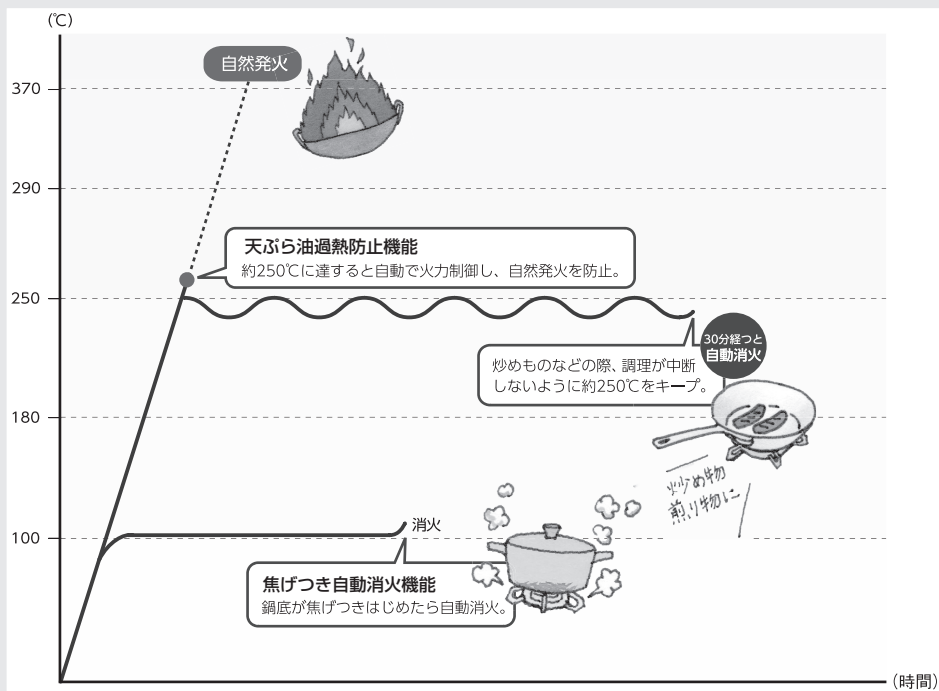
Tイ65

Siセンサーコンロについて

Si 全口センサー搭載 センサーコンロ

安心(Safety)・便利(Support)・笑顔(Smile)を約束する、
賢い(Intelligent)センサーを搭載した、進化したコンロです。

・万一の消し忘れ･･･ ・天ぷら油の過熱･･･	**◎未然に防止します！**
・なべ底が高温になっても･･･	**◎自動的に弱火になります！**
・煮ものなどでの焦げつき･･･	**◎初期段階で自動消火します！**

●温度センサーのはたらき

とくに多いご質問です

・器具栓つまみを押し回しても、点火しない
・電池交換サインが点滅している

乾電池が消耗しているためです。乾電池を交換してください。

乾電池を交換する(電池交換サイン点滅)めやすは約1年です。

☞16

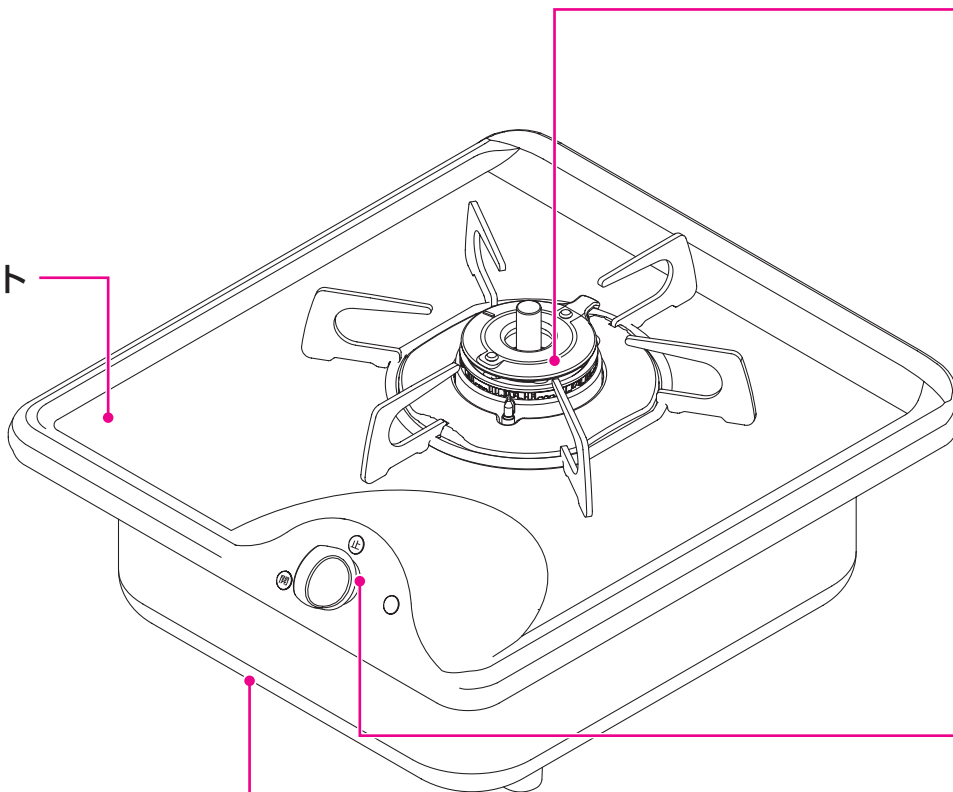
・勝手に火が小さくなったり、火が消えたりする

安心・安全機能がはたらいているためです。

自動的に火力を調節したり、自動消火し、高温になり過ぎることを防止します。

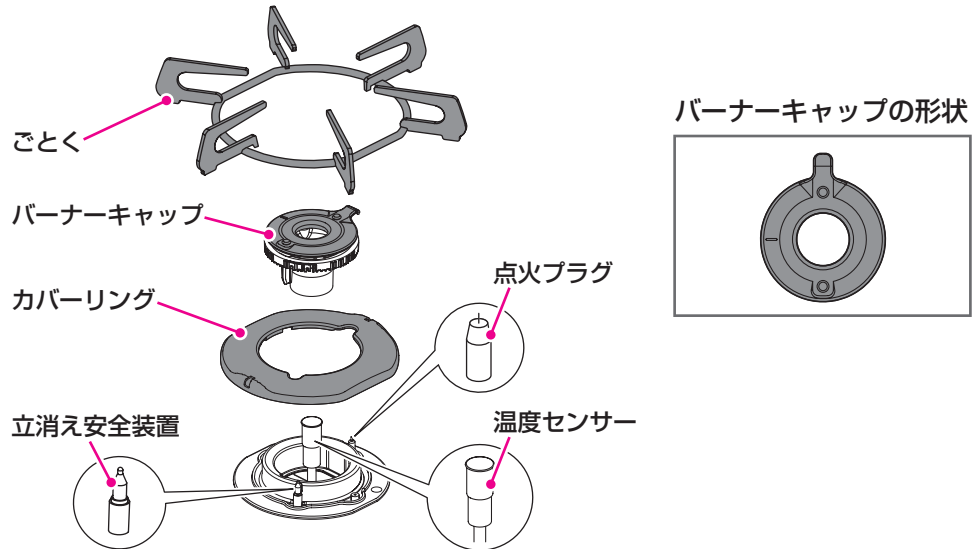
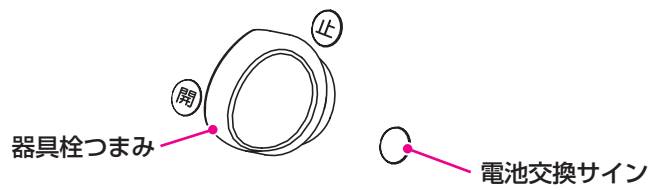
☞15

もくじ

各部のなまえ

電池収納部

※キャビネットとびらを開けた機器本体底部にあります。

コンロ調理部

※取り付け方法については、『お手入れ』（23ページ）を参照してください。

コンロ操作部

必ずお守りください（安全上の注意）

安全に正しく使用していただくために必ずお読みください

使用される方や他の方への危害・財産への損害を未然に防止するために、つぎのような区分・表示をしています。
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容を理解して正しく使用してください。

■危害・損害の程度による内容の区分

区分	内容
⚠危険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険または、火災が切迫して生じることが想定される内容です。
⚠警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性または、火災が想定される内容です。
⚠注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性および物的損害のみが発生する可能性が想定される内容です。
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容です。

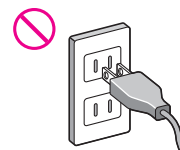
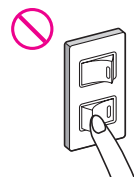
■注意・禁止内容の絵表示

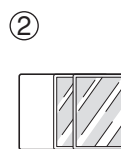
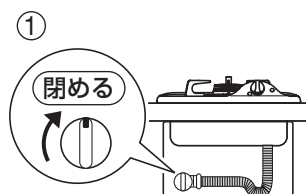
必ず守る	換気する	禁止	火気禁止
分解禁止	接触禁止		

⚠危険 ガス漏れの際には

ガス漏れ時は、絶対に

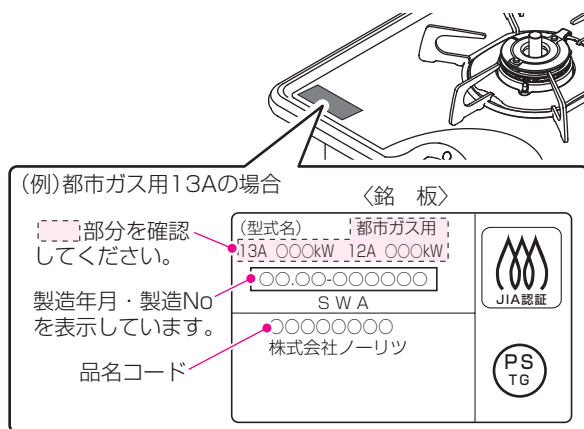
- **火をつけない**
- **電気器具（換気扇など）のスイッチの入・切をしない**
- **電源プラグの抜き差しをしない**
- **周辺で電話を使用しない**

火や火花で引火し、**火災の原因になります。**

ガス漏れに気づいたときは、すぐに使用をやめる

①火を消し、ガス栓を閉める。
②窓や戸を開け、ガスを外に出す。
③販売店または、もよりのガス事業者（供給業者）に連絡する。

⚠警告 使用するガスについて

- **銘板に表示しているガス(ガスグループ)で使用する**
- **転居時は、供給ガスの種類が銘板の表示と一致していることを確認する**

表示以外のガスで使用すると、**不完全燃焼による一酸化炭素中毒や爆発着火によるやけど、機器が故障する原因になります。**

供給ガスがわからない場合は、販売店または、もよりのガス事業者(供給業者)にお問い合わせください。

⚠警告 火災予防のために

機器を設置の際は

- **機器の設置(取り付け、取り外し)・移転および付帯工事は、販売店または、弊社窓口に依頼する**

ガス配管接続には専門の資格・技術が必要です。

- **可燃性の部分から十分離して設置する**

当該地区の市・町・村の条例で定められています。必ず守ってください。

- **距離を確保できない場合は、別売の防熱板を取り付ける**

防熱板を取り付けなかった場合、**火災の原因になります。**

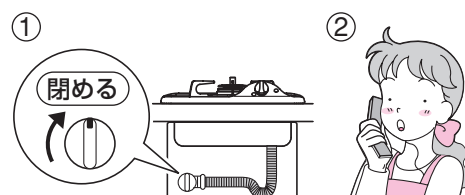
※離隔距離については14ページを参照してください。
防熱板の購入は、販売店または、弊社窓口にお問い合わせください。

- **機器周囲の改装(吊り戸棚を付けるなど)については、販売店に相談する**

ご自分で改装されると、設置基準上問題がある場合があり、**火災の原因になります。**

機器をご使用の際は

- **使用中に異常燃焼、異常音、臭気などを感じたときや、地震、火災などの緊急の場合は、すぐに使用をやめる**

①火を消し、ガス栓を閉める。
②販売店または、弊社窓口に連絡する。
火災や一酸化炭素中毒のおそれがあります。

- **使用後は消火を確認する**

火災や思わぬ事故の原因になります。
※就寝や外出時は、ガス栓も閉めてください。

必ずお守りください（安全上の注意）
禁止

- **火をつけたまま離れない**
- **火をつけたまま就寝や外出をしない**

調理中のものが焦げたり燃えたりするなど、**火災の原因になります。**
※とくに天ぷらや揚げもの調理を使用しているときは注意してください。
電話や来客の場合は、一旦火を消してください。

禁止

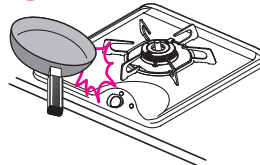
- **引火のおそれのあるもの（スプレー、ガソリン、ベンジンなど）は機器の近くで使用しない**

火災の原因になります。

禁止

- **トッププレートに衝撃や荷重を加えない**
- **上にのらない**

トッププレートが変形し、**異常過熱や火災の原因になります。**

禁止

- **燃えやすいものや引火のおそれのあるものを機器の近くに置かない**
  - **燃えやすいもの**
    ペットボトル、プラスチック類、ふきん、タオル、カーテン、調理油、新聞紙、ビニールシートなど
  - **引火のおそれのあるもの**
    スプレー缶、カセットコンロ用ボンベなど

火災の原因や、熱でスプレー缶の圧力が上がり、**スプレー缶が爆発する原因になります。**

コンロ部をご使用の際は

禁止

- **耐熱ガラス容器や土鍋など、熱が伝わりにくい容器で油料理しない**

天ぷら油過熱防止機能が正しくはたらかず、調理油が**発火し、火災の原因になります。**

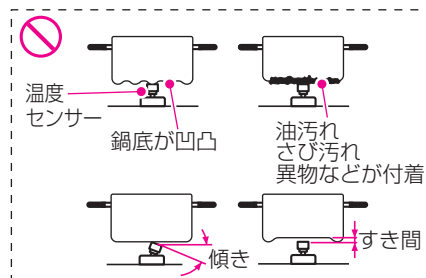
禁止

- **鍋などが、トッププレートからはみ出した状態では使用しない**

火災や機器焼損の原因になります。

禁止

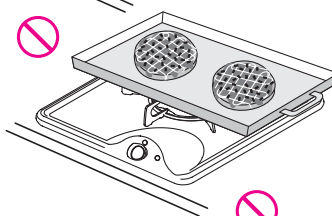
- **温度センサーの上面と鍋底やフライパンの底などが密着していないときは使用しない**

温度センサーが鍋底の温度を正しく検知できません。
- 天ぷら油過熱防止機能が正しくはたらかず、調理油の量に関係なく調理油が**発火し、火災の原因になります。**
- 焦げつき自動消火機能が正しくはたらかない場合があります。

・アルミはく製しる受け、省エネごとくなどの指定以外の補助具は使わない

一酸化炭素中毒のおそれや機器の異常過熱により、塗装の変色・はく離・機器焼損・変形の原因になります。

省エネ性をうたった補助具　アルミはく製しる受け

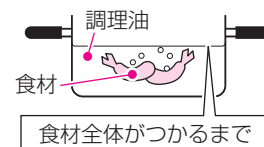
・コンロをおおうような、大きな鉄板や鍋は使わない

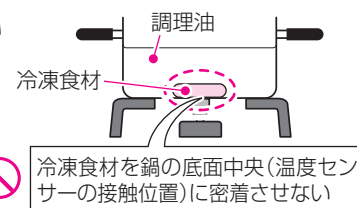
火災や不完全燃焼の原因になります。

・焼網は使用しない

トッププレートに落ちた油などが**発火したり、機器の異常過熱により塗装の変色・はく離・機器焼損・変形の原因になります。**

揚げもの調理の際は

・揚げものは食材全体が十分につかるまで調理油(必ず200mL以上)を入れて行う

調理油の量が少なかったり、減ってきたりすると、**発火するおそれがあります。**
とくに、フライパンなどの底が広い鍋で揚げものをする際は、食材全体が調理油に十分につかっていないと、**発火するおそれがあります。**

・冷凍食材を鍋の底面中央に密着させた状態で揚げものをしない

鍋の底面中央(温度センサーの接触位置)に冷凍食材が密着した状態で揚げもの調理をすると、温度センサーが鍋底の温度を正しく検知しないため、**発火するおそれがあります。**食材は中央部を避けて置いてください。

・複数回使った調理油で揚げものをしない

何回も使用して茶褐色に変色した調理油、にごった調理油、揚げカスなどが沈んだまま残っている調理油は使用しないでください。**発火が起こりやすくなる場合があります。**

・揚げすぎない

豆腐などの水分の多いものや、衣つきのコロッケなどの破裂しやすいものは、とくに注意してください。揚げすぎると油が飛び散り、**発火や、やけどのおそれがあります。**

必ずお守りください（安全上の注意）

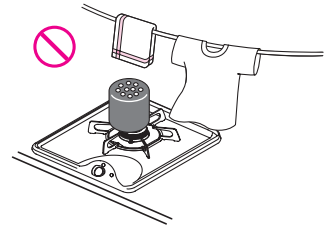
点検・お手入れの際は

・**絶対に改造・分解は行わない**
改造・分解をすると、**一酸化炭素中毒などによる死亡事故のおそれがあります。**
また、**火災の原因になります。**

⚠注意 火災予防のために

機器をご使用の際は

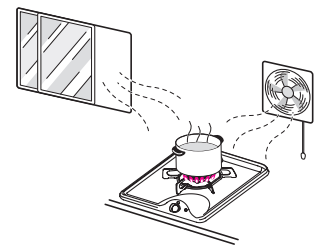
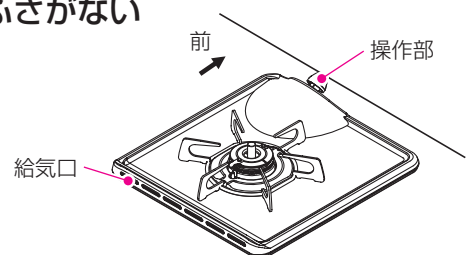
・**点火したときは、バーナーが着火したことを確認する**
着火していないと、漏れたガスに引火し、**火災や一酸化炭素中毒、思わぬ事故の原因になります。**

・**調理以外の用途には使用しない**
練炭の火起こしや衣類（ふきんなど）の乾燥などに使用しないでください。**過熱・異常燃焼による機器焼損**や、衣類などが落下して**火災の原因になります。**

⚠注意 ガス事故防止のために

機器を設置の際は

・**冷暖房装置の吹き出し口の近くや、強い風が吹き込む場所には設置していないことを確認する**
火が途中で消えたり、不完全燃焼の原因になります。

機器をご使用の際は

・**必ず換気をする**
窓を開けたり換気扇を回すなど、換気を行ってください。
換気を行わずに、他の燃焼機器と同時に使用した場合など、
不完全燃焼による一酸化炭素中毒の原因になります。
※自然排気式給湯器やふろがまを使用している場合は、換気扇を回さず、窓を開けて換気をしてください。換気扇を回すと排気ガスが逆流して**一酸化炭素中毒の原因になります。**

・**機器後方の給気口をアルミマットやテープなどでふさがない**
点火不良や不完全燃焼の原因になります。

お手入れの際は

必ず守る

- **バーナーキャップを水洗いしたあとは、よく水気を切る**
  水分が残ったまま取り付けると、**点火不良や不完全燃焼の原因になります。**

⚠注意 やけどやけがの予防のために

機器をご使用の際は

必ず守る

- **点火操作をしても点火しない場合は、器具栓つまみを「消火の状態」にし、周囲のガスがなくなってから再度点火する**
  すぐに点火すると、周囲のガスに引火して衣服が燃えるなど、**やけどの原因になります。**

必ず守る

- **コンロ使用中は、コンロの奥へ手を伸ばしたり、身体の一部や衣服が炎に触れないように注意する**
  やけどや衣服に炎が移ったりするおそれがあります。

接触禁止

- **使用中や使用直後は操作部以外は触らない**
  機器本体とその周辺および調理用具が熱くなっており、**やけどの原因になります。**

接触禁止

- **点火操作時や使用中は、バーナー付近に顔や手などを近づけない**
  炎や熱で顔や手などに、**やけどをするおそれがあります。**
  ※とくにコンロ調理中は、安心・安全機能が作動し、自動的に強火と弱火を切り替える場合があり、炎の大きさの変化によって、**やけどをするおそれがあります。**

コンロ部をご使用の際は

必ず守る

- **やかんや鍋などの大きさに合わせて火力を調節する**
  火力が強いとはみ出した炎によりやかんや鍋の取っ手などが加熱され、**やけどや取っ手などの焼損の原因になります。**

禁　止

- **片手鍋や底がへこんだ鍋や丸い鍋、底がすべりやすい鍋、径の小さい鍋などは、不安定な状態で使用しない**
  不安定な状態で使用すると、鍋が傾いて調理物が体にかかるなどして**やけどの原因になります。**
  ・片手鍋やフライパンなど、重心が片寄った鍋は不安定な状態にならないよう、取っ手をごとくのツメ方向に合わせる、取っ手を持って使用する、取っ手などを機器の前面からはみ出さないよう横に向けて置くなど、安定した状態で使用してください。
  ・中華鍋などの底の丸い鍋は、取っ手を持ちながら使用してください。

必ず守る

- **みそ汁やカレー、ミートソースなど、とろみのある料理を煮たり温めたりするときは、火力を弱めにして、よくかき混ぜる**
  強火で急に温めると、鍋底に沈んだみそやルーなどが突沸現象により突然噴き上がり、鍋がはねあがって**やけどをする原因になります。**（とくにだし入り豆みそ（赤みそなど）のときは注意してください。）

突沸現象について
突沸現象とは、突然にふっとうする現象です。
水、牛乳、豆乳、酒、みそ汁、コーヒーなどの液体を温めるときに、ささいなきっかけ（容器をゆする、塩、砂糖などを入れる）で生じます。直火でこれらを温めるときにも起きることがあります。
この現象が調理中に起きると、鍋がはねあがったり、高温の液体が飛び散るため、**やけどやけがをするおそれがあります。**これらの予防法として次の点にご注意ください。

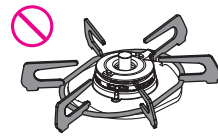
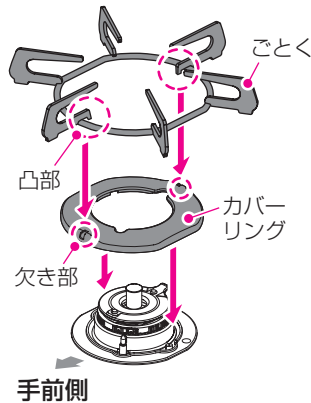
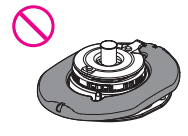
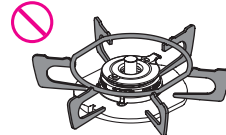
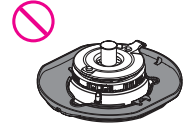
- **カレー、ミートソースなどのとろみのある料理やみそ汁などの汁ものの温めは弱火でかき混ぜながら加熱する。（強火で急に加熱しない。）**
- **熱々の汁ものに、塩、砂糖などの調味料を入れる場合は、少し冷ましてから行う。**
- **鍋の大きさにあった火力で加熱する。**

必ずお守りください（安全上の注意）

お手入れの際は

・機器が十分冷えてから、手袋をして行う
やけどや機器の突起物などでけがをする原因になります。

・トッププレートは取り外さない
裏面でけがをする原因になります。

・ごとくとカバーリングは、正しく取り付ける(24ページ)
誤った取り付けかた(浮き、裏返しなど)で使用すると、鍋の転倒によるやけど・点火不良・不完全燃焼・変形の原因になります。
また、取り付けの際に衝撃を加えると、トッププレートにキズがつくおそれがあります。

⚠注意 機器損傷の予防のために

機器をご使用の際は

・トッププレートに直接高温の鍋などをのせない
トッププレートの変色や損傷の原因になります。

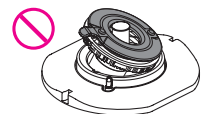
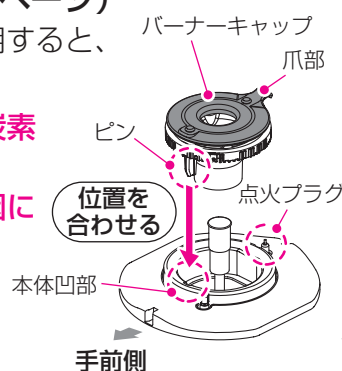
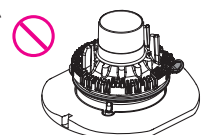
・ごとくを外して直接コンロに鍋を置いて使用しない
不完全燃焼や機器焼損の原因になります。

・コンロ操作部に、重いものをのせたり強い力を加えない
機器損傷の原因になります。

・石焼きいもつぼなどの空焼きをする調理用具は使用しない
異常過熱による機器損傷の原因になります。

・エアコン、扇風機の風などがコンロの炎にあたらないように配慮して使用する
風があたると温度センサーが鍋底の温度を正しく検知できず、火が途中で消えたり機器損傷の原因になります。

お手入れの際は

・バーナーキャップは正しく取り付ける(24ページ)
誤った取り付けかた(浮き、裏返しなど)で使用すると、
- 点火しない場合があります。
- 炎のふぞろいや逆火で不完全燃焼・一酸化炭素中毒のおそれや変形の原因になります。
- 機器の中に炎がもぐりこんで、焼損する原因になります。
- 機器寿命が短くなるおそれがあります。

⚠注意 お子さまに対する注意

禁止

・小さなお子さまだけで使用させない
思わぬ事故の原因になります。

⚠注意 温度センサーの正常な動作のために

必ず守る

・こまめにお手入れし、上下にスムーズに動くことを確認する
鍋底に温度センサーが密着しなくなり、調理油が発火する場合があります。
また、動きが悪いと鍋などが傾き、お湯などがこぼれ、やけどの原因にもなります。密着しない場合、点検・修理を依頼してください。

禁止

・強いショックを加えない
・キズをつけない
鍋底に温度センサーが密着しなくなり、調理油が発火する場合があります。

お願い

機器について

・この製品は家庭用です。業務用のような使いかたをすると、機器の寿命が著しく短くなります。
　この場合の修理は保証期間内でも有料となります。
・長期間使用しない場合は・・・
　・ガス栓を閉めてください。
　・各部の汚れを取り除き、ほこりや異物が入らないようにビニールなどをかけてください。
　　再使用時は、完全に取り外してください。
　・乾電池を電池ケースより抜いてください。
　　乾電池の液漏れにより、**機器をいためる原因になります。**
・機器を廃棄する場合は、乾電池を取り外し、専門の業者に処理を依頼してください。

機器のご使用について

・使用中もときどき、正常に燃焼していることを確認してください。
・トッププレートのごとく・カバーリングを取り付けている場所に、跡が付くことがあります。
・トッププレート上で、鍋などをすべらせたりしないでください。
　トッププレートや鍋が損傷する原因になります。
・トッププレート上で、IHジャー炊飯器、卓上型IHクッキングヒーターなど電磁誘導加熱の調理機器を使わないでください。
　磁力線により、**機器が故障する原因になります。**

コンロのご使用について

・鍋の重さは温度センサーの密着を確実にするため300g以上(調理物の重さを含む)にしてください。
　とくに片手鍋などは、不安定になりやすいので注意してください。
・弱火のときは炎が見えにくい場合があります。消し忘れに注意してください。
・調理中に鍋をのせかえるときは、一旦火を消してからのせかえてください。
　火を消さずに作業をすると、**やけどの原因になります。**
・コンロを弱火で使用している場合は、機器下のキャビネットとびらをゆっくり開閉してください。
　キャビネットとびらの開閉により発生した風で、**コンロの火が消える場合があります。**
・強火で長時間使用すると、まれに鍋とごとくがくっつくことがあります。鍋を動かすときは注意してください。
・煮こぼれしたときは、その都度お手入れを行ってください。
　バーナーに煮こぼれがかかったまま放置すると、炎口がつまり機器内部で燃えることにより、**機器焼損の原因になります。**機器の内部に煮汁が浸入すると、**故障の原因になります。**

お手入れについて

・機器や機器周辺(キッチンの天板など)に水をかけたり、水を流しての掃除はしないでください。
　また、ぬれぶきんやスポンジたわしを使用する場合もよくしぼり、水分を切ってから使用してください。
　機器内部に水が浸入し、**故障の原因になります。**

周囲の防火措置（機器の設置）

機器の設置・移転および付帯工事は、販売店または、弊社窓口に依頼し、安全な位置に正しく設置してください。

周囲の離隔距離

機器を設置する周囲の壁などが、防火上安全な場所かまたは、防火上有効な間隔を確保することができる場所に設置してください。

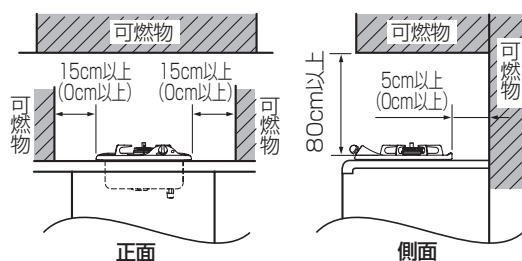
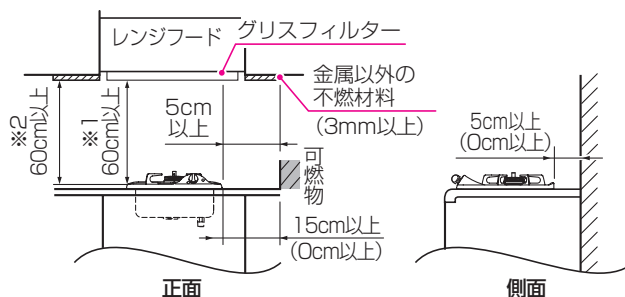
⚠警告

周囲の障害物、可燃物との離隔距離が確保されていることを確認する
離隔距離が少ないと、**火災の原因になります。**

※機器の周囲の可燃物（可燃材料、難燃材料または、準不燃材による仕上げをした建物の部分も含む）とは、トップレート上部に貼り付けの防火性能評定品ラベルに基づき下図の離隔距離を確保してください。

機器の周囲が可燃物の場合

可燃物
15cm以上（0cm以上）
15cm以上（0cm以上）
可燃物
可燃物
正面

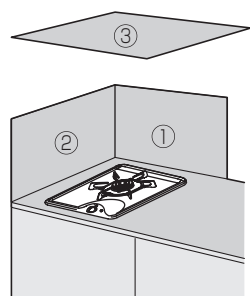
可燃物
80cm以上
5cm以上（0cm以上）
可燃物
側面

レンジフードおよび不燃材の場合

※（　）内は、周囲の壁を不燃材料で有効に仕上げた部分もしくは、防熱板を取り付けたときの寸法です。
※1 レンジフードファン以外の場合は80cm以上。
※2 不燃材料がない場合は80cm以上。

防熱板（別売部品）について

離隔距離がとれない場合や、仕上げの構造がわからない場合は、必ず防熱板による防火措置を行ってください。
防熱板のお求めは、販売店または、弊社窓口にお問い合わせください。

⚠警告

防熱板は、必ず指定のものを使用する
防熱板に同こんされている「取付説明書」に従って正しく取り付ける。
防熱板を取り付けないと、**火災の原因になります。**

・防熱板は4種類用意しています。
・用途に適した防熱板を選んでいただき、正しく取り付けてください。
※取り付け方法は防熱板に同こんされている「取付説明書」をご覧ください。

※イラストはイメージです。

ワークトップの後部に立ち上がりがある場合

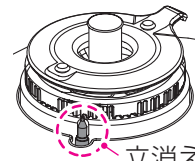
	商品番号	高さ(mm)	幅(mm)
①	0702054	350	600
②	0702055	350	535
③	0702056	550	900
④	0705477	90	600

※0705477はワークトップ後部の立ち上がり用

安心・安全機能

◎風や煮こぼれで火が消えた場合、自動的にガスを止めます。

立消え安全装置

※火が消えてから数秒後にガスを完全に止めます。
※再度点火するときは、窓や戸を開けて換気をし、ガスのにおいが完全になくなってから点火してください。

◎万一消し忘れても、一定時間で自動消火します。

コンロ消し忘れ消火機能

点火後、約120分(高温で自動火力調節している状態の場合は約30分)連続使用すると自動消火します。

◎天ぷら油の過熱を未然に防止します。

天ぷら油過熱防止機能

油温が約250℃になると自動で強火と弱火を繰り返し、過熱による発火を防ぎます。自動火力調節している状態が約30分続くと自動消火します。約250℃以上になる場合は、約30分を経過する前に自動消火します。
※鍋の種類や油の量によって自動消火時の油の温度は異なります。

⚠注意

天ぷら油過熱防止機能がはたらいたときは、鍋や油の温度が相当高くなっているため注意する
やけどやけがの原因になります。

◎煮ものなどの焦げつきを初期段階で自動消火します。

焦げつき自動消火機能

焦げつきの程度は、鍋の材質・火力・調理物によって異なります。
※弱火から強火に切り替えたときに温度センサーがはたらいて自動消火することがあります。再度点火すると正常に作動します。

◎器具栓つまみを戻し忘れてもブザーでお知らせします。

器具栓つまみ戻し忘れブザー

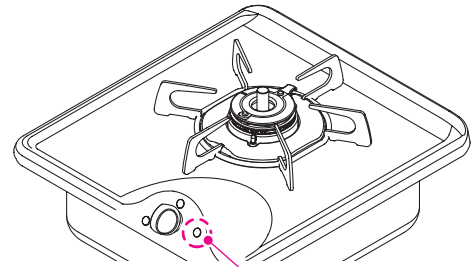
安心・安全機能のはたらきにより火が消えたときに、器具栓つまみを戻し忘れると、5分おきにブザー音『ピー』でお知らせします。
戻し忘れたまま放置すると、乾電池の消耗が早くなります。必ず「消火の状態」に戻してください。

乾電池を交換する

乾電池を交換するときは、必ず機器が冷えてから行ってください。

・乾電池の交換時期が近づくと電池交換サインが点滅し、最初の点火操作時はブザー音『ピー』でお知らせします。
乾電池の容量がなくなると点火できなくなるので、新しいアルカリ乾電池(単2形:2個)と交換してください。

⚠注意

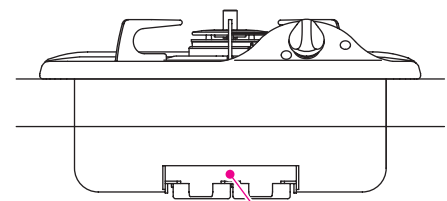
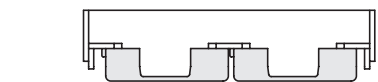
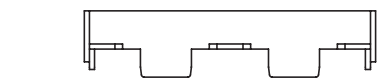
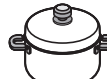
乾電池は充電・分解・加熱したり、火の中に投入しない
乾電池が破裂し、手や服などを汚すだけでなく、**目などに入ると大変危険です。**

電池の入れかた

※初めて機器を設置するときは、『古い乾電池を取り出す』作業は不要です。

❶ キャビネットとびらを開ける
乾電池は、キャビネットとびらを開けた機器本体底部、手前に電池ケースがあります。

❷ 電池ケースから古い乾電池を取り出す
古い乾電池は、手前から1個ずつ取り出し、必ず2個とも取り出す。

❸ 新しい乾電池を入れる
新しいアルカリ乾電池(単2形:2個)の⊕⊖を確かめ、電池ケースに組み込む。

❹ キャビネットとびらを閉じる

乾電池に関するお願い

・乾電池の組み込む方向を間違えないようにしてください。
・乾電池が正しく組み込まれていなかったり、乾電池の容量が全くなくなった場合、電池交換サインは点滅しません。
・乾電池は必ず2個とも同種類の新品のアルカリ乾電池を使用してください。
アルカリ乾電池(単2形:2個)を使用した場合、乾電池を交換する(電池交換サイン点滅)めやすは約1年です。
・アルカリ乾電池(単2形:2個)でも、使用状況・使用時間・乾電池製造メーカー・新しい乾電池と古い乾電池または、種類の違う乾電池を混ぜて使用した場合、交換時期が1年以内と短くなる場合があります。
また、マンガン乾電池を使用した場合も、交換時期が極端に短くなります。
・未使用の乾電池でも「使用推奨期限(月、年)」を過ぎている場合は、自然放電により短時間で電池交換サインが点滅する場合があります。また、付属のアルカリ乾電池(単2形:2個)は、工場出荷時期により寿命が短くなっている場合があります。
・電池ケースに水や異物が入った場合、ふき取ってきれいにしてください。**電池機能不良の原因となります。**
・単3形乾電池を単2形サイズにする電池スペーサーは、電池ケースの ⊖ 端子が接触せず、使用できない場合があります。また、使用できた場合でも、交換時期が極端に短くなります。

コンロを使う準備

鍋の選びかた

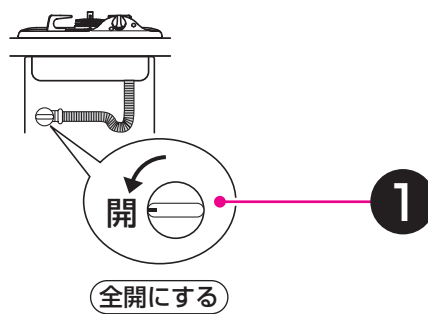
鍋などの種類	煮ものなど	炒めもの 揚げものなど (※3 油の量：200mL以上)
アルミ製の鍋・文化鍋	○	○
ホーロー鍋・ステンレス製の鍋（厚手）（鍋底厚み2mm以上）	○	○
ステンレス製の鍋（薄手）（鍋底厚み2mm未満）	○ ※1	×
ステンレス製の無水鍋・ステンレス製の多層鍋	○ ※2	○
鉄製の鍋・中華鍋・フライパン	○	○
土鍋・圧力鍋・耐熱ガラス容器	○ ※2	×

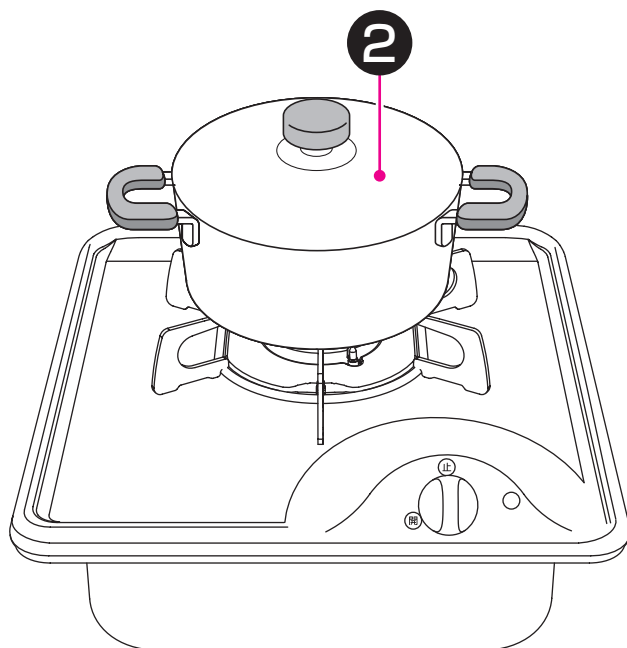
○：適しています。　×：適していません。（温度を正しく検知しない場合があります。）

※1：焦げつきがきつくなります。
※2：途中消火したり、焦げつく場合があります。
※3：揚げものの場合の油の量を示します。

中華鍋を使うときのお願い

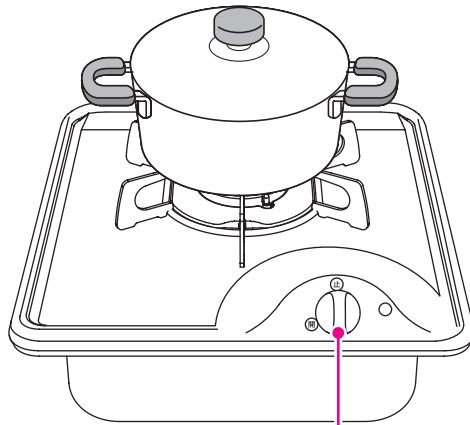
・鍋底と温度センサーが密着していることを確かめてから使用してください。
・中華鍋の種類によっては、鍋が安定せず、温度センサーが正しくはたらきません。
・必ず取っ手を持って調理してください。

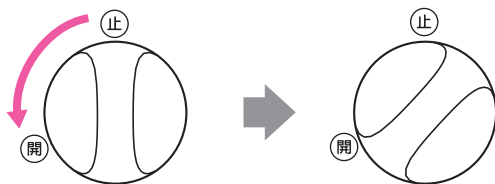
❶ ガス栓を全開にする

❷ ごとく中央に鍋やフライパンなどを置く

点火前に温度センサーが鍋底に密着していることを確認してください。

コンロの使いかた

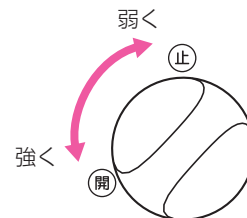
『コンロを使う準備』(17ページ)
をよく読み、準備をする

ごとく中央に鍋などを置く

❶❷❸

❶ 点火する

○器具栓つまみを押し、止まるまで回して、
点火の状態にしてください。

※必ず火がついたことを確認してください。

❷ 火力調節する

○器具栓つまみをゆっくりと回してください。

※点火後、約30分毎にブザー音『ピピピッ』で、
使用中であることをお知らせします。

調理をするときのコツ

炒めもの(野菜炒めなど)、焼きもの(目玉焼き、ハンバーグなど)をする場合は、1分程度予熱する。

※予熱時間が長すぎたり短すぎたりすると、安心・安全機能がはたらき、弱火になったり消火する場合があります。

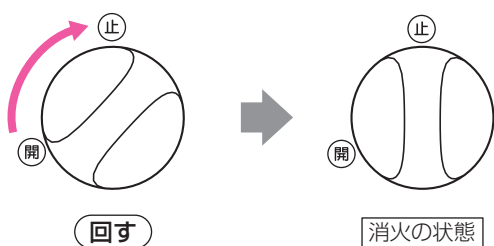
⚠注意

みそ汁やカレー、ミートソースなど、とろみのある料理を煮たり温めたりするときは、火力を弱めにして、よくかき混ぜる

強火で急に温めると、鍋底に沈んだみそやルーなどが突沸現象により突然噴き上がり、鍋がはねあがって**やけどをする原因になります。**(とくにだし入り豆みそ(赤みそなど)のときは注意してください。)

※突沸現象については、10ページを参照してください。

❸ 消火する

○器具栓つまみを「止」位置まで回し、消火の状態にしてください。

※必ず火が消えたことを確認してください。

ご注意していただきたいこと

自動消火した場合、器具栓つまみを「消火の状態」に**戻し忘れたまま放置すると、乾電池の消耗が早くなります。**

必ず「消火の状態」に戻してください。(15ページ)

ご注意していただきたいこと

鍋などをごとくにのせた状態で、激しく動かさないでください。

トッププレートに**キズがつくおそれがあります。**

お知らせ

約120分間(高温で自動火力調節している状態の場合は約30分間)連続使用すると、消し忘れ消火機能がはたらき自動消火します。

お手入れ（その前に）

⚠注意

必ず守る

- ・お手入れは、ガス栓を閉め、機器が冷えてから手袋をはめて行う
- ・お手入れ後は、機器にふきん・紙類などを置き忘れていないか必ず確認する

火災の原因になります。

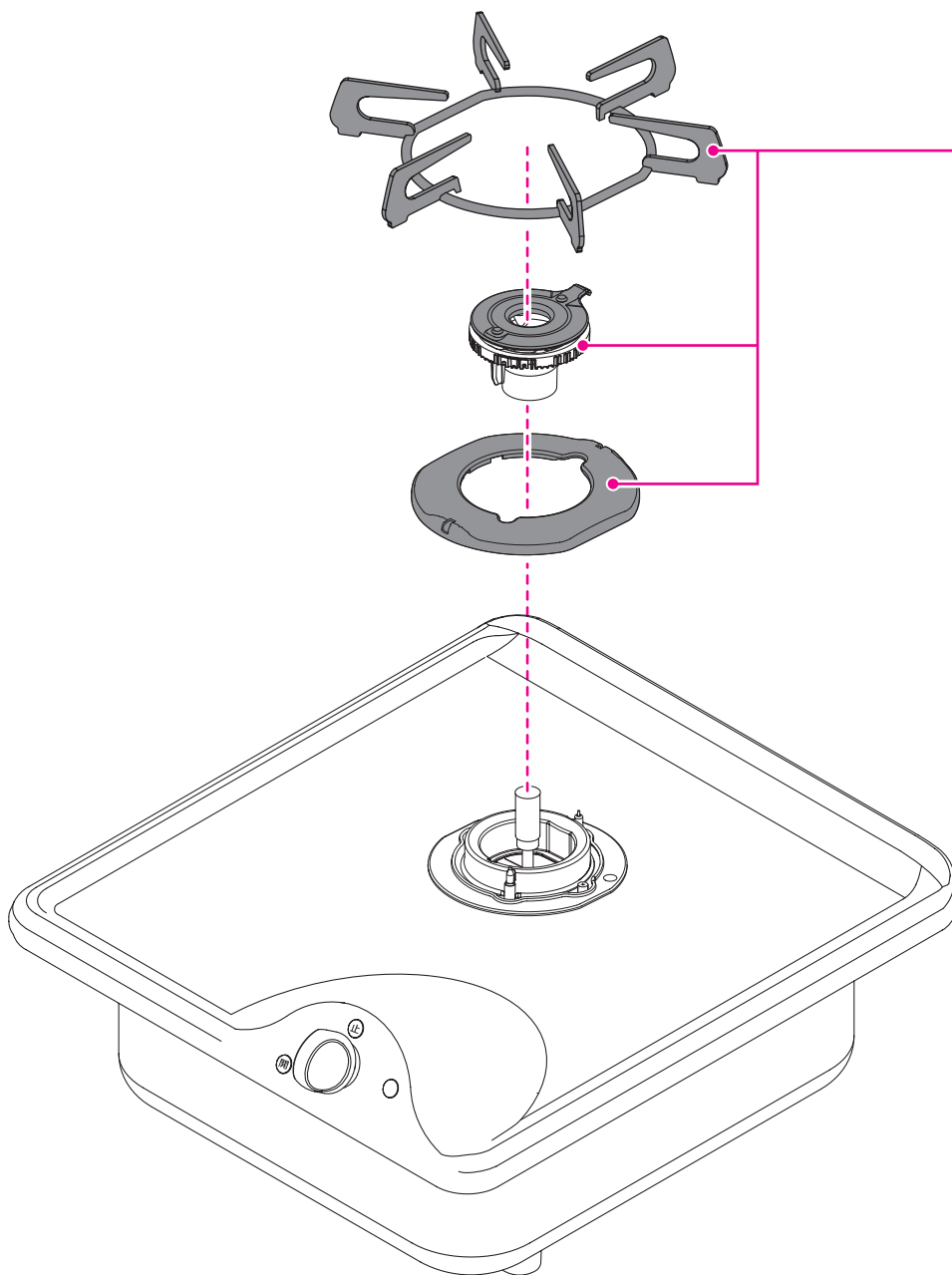
各部品がいたんでいないか確認してください。**いたんだまま使用されますと、思わぬ事故の原因となります。**
いたんでいる場合は、34ページの交換部品を参照し、部品を交換してください。詳しくは、販売店または、弊社窓口にお問い合わせください。

お手入れするときのお願い

・ご使用の都度、お手入れしてください。汚れたままにすると汚れがこびり付き、落ちにくくなります。
煮こぼれをしたまま放置するとお手入れする部品が固着し、外れにくくなったり、故障の原因になります。
とくに砂糖などを含んだ濃い汁は、すぐにふき取ってください。焼きついて掃除が困難になります。
・バーナーキャップ・ごとく・カバーリングは外せます。それ以外の部品は、絶対に取り外さないでください。

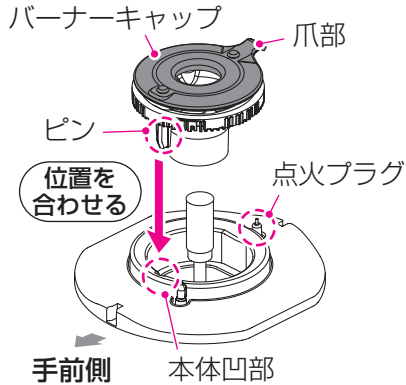
お手入れ道具・洗剤について

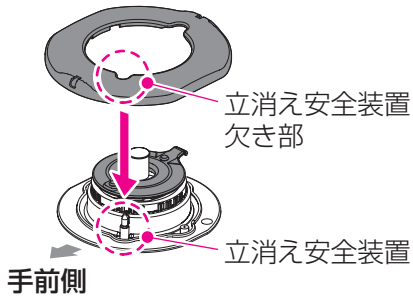
使ってよい	スポンジたわし　やわらかい布　やわらかい歯ブラシ　台所用中性洗剤	
使ってはいけない	ナイロンたわし　亀の子たわし　金属たわし　スポンジたわし裏面　クレンザー　ミガキ粉　硬い歯ブラシ	**キズの原因になるもの** ※部品・ホーローや塗装の表面にキズがつき、はがれ・欠け・変色・変質・さび・割れの原因になります。
	酸性洗剤・アルカリ性洗剤・漂白剤　シンナー・ベンジン・アルコール	**変質の原因になるもの** ※部品・ホーローや塗装の表面が変質し、はがれ・変色・さび・樹脂部品の割れの原因になります。
	歯みがき粉　弱酸性洗剤・弱アルカリ性洗剤・クリームクレンザー　重曹	**キズ・変質の原因になるもの** ※樹脂部品の割れ・表面の変質・キズ・変色・さびの原因になります。
	スプレー式洗剤	**故障の原因になるもの** ※直接かけて使用すると機器内部に洗剤が入り、故障の原因になります。必ずやわらかい布やスポンジたわしなどに含ませてから使用してください。
	可燃性スプレー・浸透液・潤滑剤	**火災の原因になるもの** ※引火するので、絶対に使用しないでください。

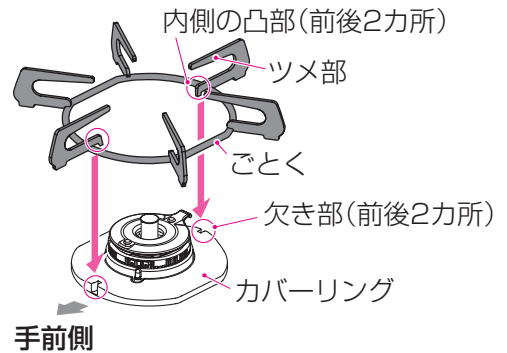
お手入れ（部品の取り付けと取り外し）

◎お手入れは、
- 機器が冷えていることを確認する
- ガス栓を閉める
- 手袋をする

◎お手入れをしたあとは、洗剤や水分が残らないようにする
◎部品を取り付けたあとは、傾きがないことを確認する

バーナーキャップ・カバーリング・ごとく

バーナーキャップ

・バーナーキャップの爪部を後ろ側にして点火プラグの真上にくるように合わせ、手前側の本体凹部にバーナーキャップのピンを入れて、浮きがないように取り付けてください。
（点火プラグに衝撃をあたえないようにしてください。）

カバーリング

・立消え安全装置欠き部を立消え安全装置の位置に合わせ、浮きがないように取り付けてください。

ごとく

・ごとく内側の凸部（前後2カ所）を、カバーリングの欠き部（前後2カ所）に入れて、浮きがないように取り付けてください。

⚠注意

バーナーキャップは正しく取り付ける

誤った取り付けかた（浮き、裏返しなど）で使用すると、
- 点火しない場合があります。
- 炎のふぞろいや逆火で**不完全燃焼・一酸化炭素中毒のおそれや変形の原因になります。**
- 機器の中に炎がもぐりこんで、**焼損する原因になります。**
- **機器寿命が短くなるおそれがあります。**

ごとくとカバーリングは正しく取り付ける

誤った取り付けかた（浮き、裏返しなど）で使用すると、**鍋の転倒によるやけど・点火不良・不完全燃焼・変形の原因になります。**
また、取り付けの際に衝撃を加えると、トッププレートに**キズがつくおそれがあります。**

バーナーキャップの浮き

バーナーキャップの裏返し

ごとくの浮き

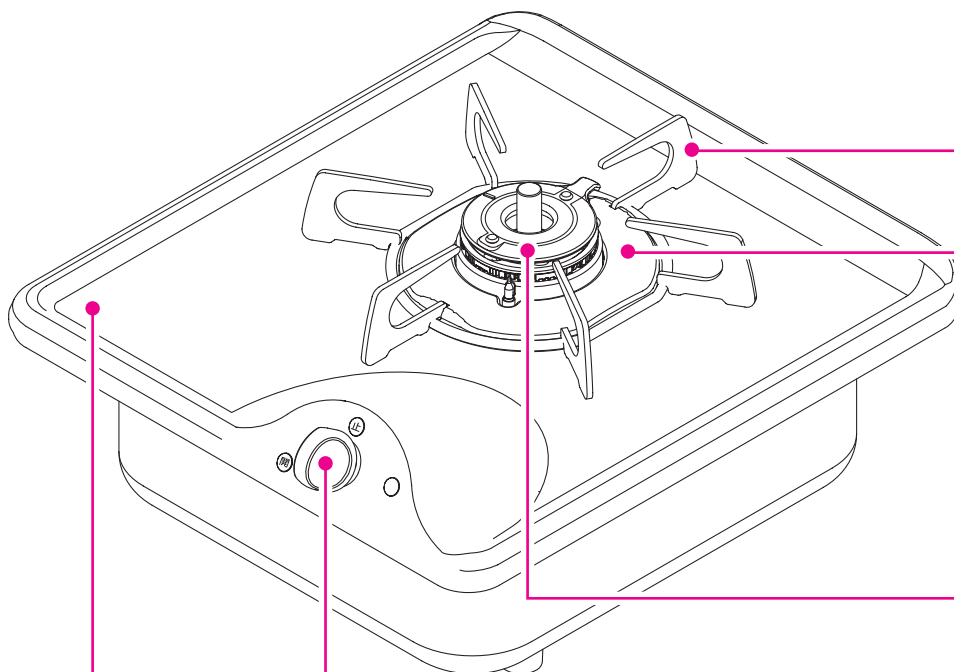
ごとくの裏返し

カバーリングの浮き

カバーリングの裏返し

お知らせ

・バーナーキャップ・カバーリング・ごとくは消耗部品です。
バーナーキャップは厚みが薄くなったり、変形すると炎がふぞろいになります。また、ごとくは、ツメ部がグラグラしていると、鍋などの転倒の原因になりますので、交換してください。
・交換部品（有料）として準備しております。（34ページ）
販売店または、弊社窓口にお問い合わせください。

お手入れ

操作部

・乾いた布でよくふいてください。

取れにくい汚れのとき

・台所用中性洗剤を含ませた布でふき取ったあと、洗剤や水分が残らないよう、乾いた布で再度ふき取ってください。

トッププレート

・台所用中性洗剤や、水を含ませたスポンジ、布などのやわらかい物でふき取ったあと、洗剤や水分が残らないよう、乾いた布で再度ふき取ってください。

※表面についた煮こぼれなどの汚れをそのままにしておくと、こびりついて取れにくくなり、シミが残ることがあります。
使用のたびにこまめにふき取ってください。
とくに砂糖などを含んだ濃い汁は、すぐにふき取ってください。
焼きついて掃除が困難になります。

◎お手入れは、
- ・機器が冷えていることを確認する
- ・ガス栓を閉める
- ・手袋をする

◎お手入れをしたあとは、洗剤や水分が残らないようにする
◎部品を取り付けたあとは、傾きがないことを確認する

ごとく・カバーリング

・台所用中性洗剤を含ませた布やスポンジで汚れをふき取ったあと、洗剤や水分が残らないよう、乾いた布で再度ふき取ってください。
※汚れがついたまま使用すると、汚れが落ちにくくなります。

取れにくい汚れのとき

・台所用中性洗剤で丸洗いしたあと、洗剤や水分が残らないよう、乾いた布でふき取ってください。

それでも汚れが取れないとき

・煮洗いするとさらに汚れが取れやすくなります。
水を入れた大きめの鍋に、ごとくやカバーリングを入れ、約30分加熱し、冷ましてから水洗いして、水気をふき取ってください。
※表面が変色することがありますが、使用上問題ありません。
※取り出すときは、**やけどなどに注意してください。**
※ごとく、カバーリング以外は、煮洗いしないでください。

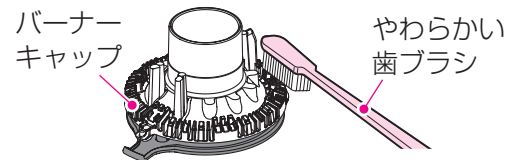
バーナー部

バーナーキャップ

・台所用中性洗剤を含ませた布やスポンジで汚れをふき取ったあと、洗剤や水分が残らないよう、乾いた布で再度ふき取ってください。
・水洗い後は、よく水気を切ってください。
※水分が残ったまま取り付けると、**点火不良や不完全燃焼になります。**

目づまりしたときは

・凹部や溝部は、やわらかい歯ブラシなどでお手入れしてください。こびり付いた汚れは、つまようじなどで取り除いてください。
※目づまりや汚れは、**不完全燃焼や点火不良の原因になります。**

バーナーキャップ
やわらかい歯ブラシ

点火プラグ・立消え安全装置・温度センサー

・水を含ませて、かたくしぼった布で煮こぼれなどの汚れをふき取ったあと、水分が残らないよう、乾いた布で再度ふき取ってください。
※洗剤などは使用しないでください。
※点火プラグ・立消え安全装置・温度センサーはキズつけたり、衝撃をあたえないようにしてください。位置が変わったり、傾くと安全機能が正しくはたらかないおそれがあります。

⚠注意

必ず守る

温度センサーは、こまめにお手入れし、上下にスムーズに動くことを確認する
鍋底に温度センサーが密着しなくなり、調理油が**発火する場合があります。**また、動きが悪いと鍋などが傾き、お湯などがこぼれ、**やけどの原因にもなります。**
密着しない場合、点検・修理を依頼してください。

よくあるご質問

とくに多いご質問です

ご質問	回答	参照ページ
・器具栓つまみを押し回しても、点火しない ・電池交換サインが点滅している	**乾電池が消耗しているためです。** **乾電池を交換してください。** 乾電池を交換する(電池交換サイン点滅)めやすは約1年です。	16
・勝手に火が小さくなったり、火が消えたりする	**安心・安全機能がはたらいているためです。** 自動的に火力を調節したり、自動消火し、高温になり過ぎることを防止します。	15

	ご質問	詳細の番号	回答	参照ページ
全体	**点火しない** ご質問の詳細 ① 点火しない ② 点火しにくい ③ スパーク(パチパチ)しない ④ 点火してもすぐ消える	①②③④	乾電池が消耗しています。 新しいアルカリ乾電池(単2形：2個)に交換してください。	16
			バーナーキャップが傾いたり、浮いたりしていないか確認し、正しく取り付けてください。	11・23
			器具栓つまみを押し回して、点火の状態にしてください。	19
			アルミはく製しる受けはご使用できません。 使用しないでください。	8
		①②③	バーナーの炎口がつまっていたり、点火プラグ、立消え安全装置、バーナーキャップがぬれたり、汚れたりしていると、点火しない場合があります。お手入れしてください。	26
		①②	ガス栓を閉めていると点火できません。 ガス栓を全開にしてください。	18
			LPガスをご使用の場合、LPガスがなくなりかけているときは、販売店または、もよりのガス事業者(供給業者)にお問い合わせください。	–
			長期間使用していなかったり、朝一番など、ガス配管に空気が残っている場合がありますので、点火操作を繰り返してください。	–
			鍋底のへこみが大きな(4mm以上)鍋を使用しますと、温度センサーが正しく密着しません。 底がへこんでいない鍋を使用してください。	7
		④	温度センサーが高温になり、安心・安全機能がはたらいています。温度センサーの温度が下がるまで、点火してもすぐ消火します。しばらく待ってから、再度点火してください。	–

全体

ご質問	詳細の番号	回答	参照ページ
炎の状態がおかしい ご質問の詳細 ① 炎が安定しない ② 炎が黄色い、赤い ③ 異常音をたてて燃える、消える ④ 炎が均一でない ⑤ 使用中炎が消える ⑥ 鍋にすすがつく	①②③④⑤⑥	バーナーの炎口がつまっていたり、点火プラグ、立消え安全装置、バーナーキャップがぬれたり、汚れたりしていると、点火しない場合があります。お手入れしてください。	26
	①②③④⑤⑥	バーナーキャップが傾いたり、浮いたりしていないか確認し、正しく取り付けてください。	11・23
	①②③④⑤	風が吹き込んだり、扇風機や冷暖房機器の風があたる場所には設置しないでください。風で火が消える場合があります。	9・11
	②④⑤⑥	アルミはく製しる受けはご使用できません。使用しないでください。	8
	②⑤	使用中は換気してください。	9
	②	加湿器を使用すると水分に含まれるカルシウムが燃えて炎が赤くなることがあります。異常ではありません。	–
	②	火力調節時に一瞬炎が黄色くなったり大きくなる場合があります。異常ではありません。	–
	⑤	弱火の状態で、機器下のキャビネットとびらをはやく開閉すると、消火する場合がありますのでゆっくり開閉してください。	13
すぐに消火しない	–	バーナー内部に残ったガスが燃焼しているためです。異常ではありません。	–
強火になったとき、一瞬炎が大きくなる	–	バーナー内のガスが一度に出されるためです。異常ではありません。	–
部品が変色する ご質問の詳細 ① 表面が変色する ② ごとくが変色する ③ トッププレートに跡が付く	①②	酸性やアルカリ性洗剤は使用しないでください。中性洗剤以外の洗剤をご使用になると、変色する場合があります。	22
	②	ごとく先端は、炎が当たり白くざらざらになります。異常ではありません。	–
	③	トッププレートのごとく・カバーリングを取り付けている場所に、跡が付くことがありますが、ご使用上問題ありません。	13

よくあるご質問 ②

	ご質問	詳細の番号	回答	参照ページ
コンロ	器具栓から手を放してもスパーク(パチパチ)する	–	楽々点火方式で、器具栓から手を放してもスパークが続きます。(最長約5秒) 異常ではありません。	–
	コンロ使用時の現象 ご質問の詳細 ① 調理中に消火する ② 油が高温になっていても自動消火しない ③ 点火してもすぐ消える ④ 自動で火力が変わる ⑤ 鍋底がひどく焦げついて消火する	①②③④⑤	鍋の形状や材質が適しているか確認してください。	17
			鍋底が温度センサーと密着していることを確認してください。	7・26
			鍋底や温度センサーが汚れていないか確認し、汚れている場合はお手入れしてください。	
		①③	温度センサーが高温になり、安心・安全機能がはたらいています。温度センサーの温度が下がるまで点火してもすぐ消火します。 しばらく待ってから再度点火してください。	15
		①⑤	焦げつき自動消火機能は、鍋の材質や調理により焦げつきの程度がかわります。 ホーロー製の鍋や、カレー・シチュー・カラメル・みそなどの水分が少ない料理は焦げやすくなります。弱火でときどきかき混ぜながら調理してください。	
			鍋底が焦げついていないか確認してください。 焦げつきや空だきの場合、焦げつき自動消火機能がはたらいて、自動的に消火します。	
		①	点火後約120分(高温で自動的に火力調節している場合は約30分)で自動消火し、消し忘れを防ぎます。	15
			弱火の状態で、機器下のキャビネットとびらをはやく開閉すると、消火する場合がありますのでゆっくり開閉してください。	13
			冷凍した調理物をそのまま調理した場合、調理中に消火することがありますので、解凍してから調理してください。	–
			無水鍋や多層鍋、土鍋や耐熱ガラス容器、圧力鍋を使用すると、まれに焦げつき自動消火機能がはたらき、調理中に消火することがあります。	17
		④	鍋の温度が高温になると、過熱防止のため自動的に火力を切り替えます。 弱火と強火を繰り返し、この状態が約30分続くと自動消火します。	15
		⑤	鍋底にこんぶや竹皮などを敷くと焦げつきがきつくなる場合があります。ときどきかき混ぜて火加減し、様子を見ながら調理してください。	–

	ご質問	詳細の番号	回答	参照ページ
におい	**ガスのにおいがする いやなにおいがする**	–	**すぐに使用をやめ、ガス栓を閉めてから原因を調べてください。**	5・6
			風が吹き込んだり、扇風機や冷暖房機器の風があたる場所には設置しないでください。風で火が消える場合があります。	9・11
			煮こぼれや水滴がついていないか確認し、お手入れしてください。また、お手入れしたあとは、洗剤や水分が残らないようにしてください。	25
			周囲に燃えやすいものやプラスチック製品などがないか確認してください。	7
音	**使用中、消火後に音がする** ご質問の詳細 ① **消火後に「ピー」とブザー音がする** ② **「ポン」と音がする** ③ **「カチッ」と音がする** ④ **キシミ音がする** ⑤ **「シャー」と音がする** ⑥ **点火初期に「ポッポッ」と音がする**	①	器具栓つまみを戻し忘れていないか確認してください。器具栓つまみを戻し忘れると、5分おきにブザー音『ピー』でお知らせします。 ※安心・安全機能のはたらきにより火が消えたときは、器具栓つまみを「消火の状態」にしてください。**戻し忘れたまま放置すると、乾電池の消耗が早くなります。**	15
		②	コンロバーナー使用後の火の消えたときの音です。異常ではありません。	–
		②	バーナーキャップが正しく取り付けされていないと、音がする場合があります。	11・23
		③	火力を切り替える動作音です。異常ではありません。	–
		④	点火後や消火後にキシミ音がでますが、加熱や冷却されるときに、金属が膨張収縮して起こる音です。異常ではありません。	–
		⑤	コンロバーナー使用中「シャー」と音がしますが、燃焼するガスの通過音です。異常ではありません。	–
		⑥	機器が冷えている状態で点火すると、しばらく音がする場合がありますが、温まると音はなくなります。異常ではありません。	–
乾電池	**使用時に『ピー』というブザー音とともに、電池交換サインが点滅する**	–	乾電池が消耗しています。乾電池を交換してください。乾電池を交換する(電池交換サイン点滅)めやすは約1年です。	16
	乾電池を交換しても電池交換サインが点滅する	–	乾電池に記載されている使用推奨期限を確認してください。 未使用の乾電池でも、古くなった乾電池は消耗していますので、新しいアルカリ乾電池(単2形：2個)に交換してください。	16

ブザー報知・お知らせ表示

ブザー音	表　示	内　　容
ピー（1回）	—	器具栓つまみ戻し忘れブザーの作動
		消し忘れ消火機能の作動
	点滅　電池交換サイン	電池交換のお知らせ
ピー（2回）	—	立消え安全装置の作動
ピー（3回）	—	点火時に着火しなかった
ピー（4回）	—	器具栓つまみを長く押し続けている
		天ぷら油過熱防止機能の作動 焦げつき自動消火機能の作動
ピー（10秒間繰り返し）	—	操作部・温度センサーの故障
ブザーが鳴り続ける　ピー（約10秒連続）	—	電子部品の故障

ご注意していただきたいこと

自動消火した場合、器具栓つまみを「消火の状態」に**戻し忘れたまま放置すると、乾電池の消耗が早くなります。**
必ず「消火の状態」に戻してください。（20ページ）

原　　因	処置と再使用時の注意	参照ページ
安心・安全機能のはたらきにより火が消えたときなどで、器具栓つまみが「点火の状態」のままになっている。	器具栓つまみを「消火の状態」に戻してください。	20
点火後、約120分連続使用した場合など。	器具栓つまみを「消火の状態」に戻してください。 続けて使用する場合は、十分換気をしてから、再度点火してください。	20
乾電池の消耗。	乾電池を交換してください。	16
炎のふき消え・煮こぼれした場合など。	バーナーキャップ、点火プラグなどが汚れていると、点火しない場合があります。お手入れしてください。	26
炎のふき消えなど。	器具栓つまみを「消火の状態」に戻してください。 続けて使用する場合は、十分換気をしてから、再度点火してください。	20
煮こぼれによる炎口つまり・煮こぼれによる点火プラグの汚れ		
器具栓つまみを長く押し続けたとき。	手を離してください。 器具栓つまみを「消火の状態」に戻してください。	－
調理油の過熱・焦げつき・消し忘れによる過熱・空焼きなど。	器具栓つまみを「消火の状態」に戻してください。 続けて使用する場合は、十分換気をしてから、再度点火してください。	20
部品が故障しています。	点検が必要です。 使用をやめ（器具栓つまみを「消火の状態」に戻し）、ガス栓を閉め、販売店または、弊社窓口に連絡してください。	－

仕様・アフターサービス

仕様

品　名	ガスビルトインコンロ
型　式　名	C1C04KS
点　火　方　式	連続スパーク点火
安　心・安　全　機　能	・立消え安全装置 ・焦げつき自動消火機能 ・天ぷら油過熱防止機能 ・コンロ消し忘れ消火機能
付　属　品	・取扱説明書(保証書付)　・工事説明書　・アルカリ乾電池(単2形：2個)
外　形　寸　法	高さ146.5mm×幅324mm×奥行き347mm
質　量	4.0kg

使用ガス 使用ガスグループ		1時間当たりのガス消費量kW	ガス接続
都市ガス用	13A	2.56 {2,200kcal/h}	R1/2(オネジ)
	12A	2.38 {2,050kcal/h}	
LPガス用		2.56 {0.184kg/h}	

※本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがありますがご了承ください。

アフターサービス

サービスのお申し込み

・『よくあるご質問』(27ページ)、「ブザー報知、お知らせ表示」(31ページ）を見て、もう一度確認してください。
・確認のうえ、それでも不都合な場合あるいは、ご不明な場合はご自分で修理しないで販売店または、弊社窓口にお問い合わせください。
なお、連絡されるときは、右記のことをお知らせください。

1. 品　名：ガスビルトインコンロ
2. 型式名・品名コード：トッププレート左手前に貼付の銘板をご覧ください。(6ページ)
3. 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）
4. ご住所・お名前・電話番号・道順（できるだけ詳しく）

＜修理料金のしくみ＞
修理料金は ①技術料 ＋ ②部品代 ＋ ③出張料 などで構成されています。
①診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・試運転などの作業にかかる料金です。③製品のある場所に技術者を派遣するための料金です。
②修理に使用した部品代金です。

転居される場合

ガスには都市ガス(数種類)およびＬＰガスの区分があります。

・ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので転居先のガスの種類を確認のうえ、販売店または、弊社窓口にお問い合わせください。この場合、調整、改造に要する費用は保証期間中でも有料となります。
・この機器は13A(12A)もしくは、LPガス仕様にのみ調整、改造できます。

保証書

取扱説明書の38ページが保証書になっています。

・保証書に記載されているように機器の故障については、一定期間、一定条件のもとに修理いたします。保証書を紛失されますと、無料修理期間内であっても修理費をいただくことがありますので、大切に保管してください。
・無料修理期間経過後の修理については、販売店または、弊社窓口にお問い合わせください。修理によって性能が維持できる場合は、有料修理いたします。

補修用性能部品の保有期間

・この製品の補修用性能部品《機能を維持するための必要な部品》の保有期限は、製造打ち切り後5年間です。
ただし、保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は、有料修理いたします。

交換部品（消耗部品）<お客さまにて取り替え可能な部品>

・下記の交換部品（消耗部品）<有料>は、お客さまご自身にてお取り替えしていただくことができます。お求めの際は、ノーリツお客さまパーツセンターまでお問い合わせください。
※一部の交換部品は、インターネットの消耗部品サイト「クラブノーリツショップ」（http://www.shop-clubnoritz.jp/）でも販売しています。

<ノーリツお客さまパーツセンター>

通話料金無料：0120-026-082
FAX：078-928-5570
受付時間：平日・土曜　9:00～17:00
※日曜・祝日、夏期休暇、年末年始を除く
お支払い：部品代＋送料＋代引手数料

<クラブノーリツショップ>

CLUB NORITZ SHOP
SUPPORT INFORMATION
http://www.shop-clubnoritz.jp/

部品がいたんだり、汚れが落ちにくくなってきたら、お早めに交換してください。

商 品 名	形 状	本体価格（税別）	商品番号
ごとく		￥1,700	SRB7051
カバーリング		￥　500	SRC7891
バーナーキャップ		￥1,800	SRC7631

・2014年9月現在の価格です。価格、仕様は、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。
※上記本体価格には、消費税・配送費は含まれておりませんので、ご購入の際は別途消費税・配送費が必要となります。
（ご購入時点における消費税率となりますことをあらかじめご了承ください。）
詳しくは、ノーリツお客さまパーツセンターにお問い合わせください。
乾電池は電気店などでお買い求めください。
・交換部品（消耗部品）の詳細は『各部のなまえ』（3～4ページ）を参照してください。

無料修理保証書

本書は、本書記載内容で無料修理をおこなうことをお約束するものです。お買い上げの日から下記保証期間中故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売店または、弊社窓口に修理をご依頼ください。

<table>
<tr><td rowspan="2">お客さま</td><td colspan="2">ご芳名　　　　　　　　　　　　様</td><td rowspan="5">型式名</td><td rowspan="5">C1C04KS</td></tr>
<tr><td colspan="2">ご住所</td></tr>
<tr><td rowspan="2">販売店</td><td>店名
住所
電話番号</td><td>扱 者 印</td></tr>
<tr><td></td><td></td></tr>
<tr><td>お買い上げ日</td><td colspan="2">平成　　年　　月　　日</td></tr>
</table>

〈保証対象部分・保証期間〉

1．保証対象部分：機器本体
2．保証期間：お買い上げ日より1年間

〈無料修理規定〉

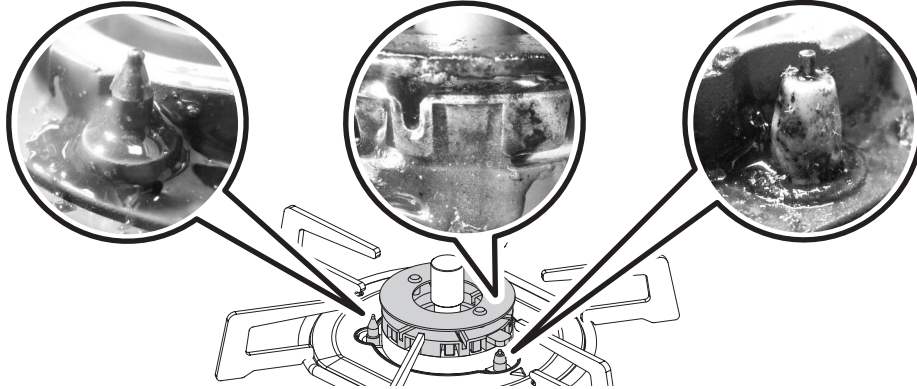
1．取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で、保証期間中に故障した場合には、お買い上げの販売店または、弊社窓口が無料修理致します。
2．保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店または、弊社窓口にご依頼の上、修理に際して本書をご提示ください。
なお、離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理をおこなった場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3．ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店または、弊社窓口にご相談ください。
4．ご贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理の依頼ができない場合には、弊社窓口にご相談ください。
5．保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
（1）取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書によらない使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
（2）お買い上げ後の専門業者以外による取付場所の移動、落下等による故障及び損傷。
（3）建築躯体の変形等機器本体以外に起因する当該機器の不具合、メッキの軽微な傷、塗装の色あせ等の経年変化またはご使用に伴う摩耗等により生じる外観上の現象。
（4）火災、塩害、地震、風水害、雷、煤煙、降灰、酸性雨、腐食性等の有害ガス、ほこり、異常気象、異常電流、異常電圧、異常電磁波、異常周波数、ねずみ・鳥・くも・昆虫類等の侵入及びその他の天災、地変による故障及び損傷。
（5）車両、船舶に備品として搭載された場合に生じた故障及び損傷。
（6）工事説明書及び取扱説明書に指示する方法以外の工事設計または取付工事等が原因で生じた不具合、故障及び損傷。
（7）業務用（喫茶店、理美容院、飲食店、事務所等）でご使用になった場合。
（8）機器に表示してある以外の使用燃料・使用電源（電圧・周波数）でご使用になった場合。
（9）消耗部品の取り替え及び保守などの費用。
（10）本書のご提示がない場合。
（11）本書にお買い上げ年月日、お客さま名、販売店名の記入捺印のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
6．本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.

保証責任者　**株式会社ノーリツ**　神戸市中央区江戸町93番地

■お客さまへ
1．この保証書をお受け取りになる時にお買い上げ日、販売店名、扱者印が記入・捺印してあることを確認してください。
2．本書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保管してください。
3．無料修理期間経過後の故障修理等につきましては、取扱説明書のアフターサービスに関する項をご覧ください。
4．この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客さまの法律上の権利を制限するものではありません。

修理を依頼される前に

点火しないとき･･･　下記の部品が汚れていませんか？

立消え安全装置　バーナーキャップ　点火プラグ

バーナーキャップ　水洗い後、水気や汚れをふき取ってください。

立消え安全装置、点火プラグ　煮こぼれなどの汚れをふき取ってください。

水分は確実にふき取ってください。

※詳しくは、「お手入れ」（26ページ）を参照してください。

安全点検

長年ご使用のガス機器の点検をぜひ！

・ときどきガスくさい。
・焦げくさいにおいがする。
・キーやボタンの操作が不確実。
・コンロ部、グリル部が点火しにくい。
・その他の異常や故障がある。

以上のような症状のときは、ガス栓を閉め、故障や事故防止のため、必ず販売店に点検・修理を相談してください。

修理・点検・商品についてのお問い合わせは･･･

株式会社ノーリツ
コンタクトセンター　通話料金無料　**0120−911−026**

携帯電話からのお問い合わせは･･･ **0570−064−910**（通話料がかかります）

コンタクトセンターにおかけいただくと音声ガイダンスが流れますので、お問い合わせの内容によって番号をお選びください。

1 修理の受付・故障に関するお問い合わせ
■ 修理受付センター
365日24時間 修理受付
※修理訪問は日中、地域により休日有り
FAX 078−928−4831

2 有償点検・所有者情報に関するお問い合わせ
■ 点検センター
【受付時間】※土日祝日、夏期休暇、年末年始を除く
〈平日〉 9：00〜17：30

3 商品に関するお問い合わせ・その他
■ お客さま相談センター
【受付時間】※年末年始を除く
〈平日〉 9：00〜18：00
〈土曜・日曜・祝日〉 9：00〜17：00
FAX 078−921−5656

個人情報の取り扱いについて

■ご連絡いただいた個人情報はお問い合わせ対応に必要な範囲で使用し、当社規定により厳格に管理します。なお、個人を特定できない情報に加工し、ノーリツグループのサービス向上や製品開発等に利用させていただきます。■ご連絡いただいた個人情報に誤りがある場合、当社からご連絡できない場合があります。　■ご連絡いただいた個人情報は、以下の場合を除き、第三者に開示・提供致しません。（1）修理や各種ご案内・お問い合わせ対応のために当社関係会社や販売店等へ連絡する場合（2）機密保持契約を締結した外部業者に業務を委託する場合（3）法令等にもとづく場合　■お客さまご自身の個人情報の開示・訂正・利用停止等に関しては、弊社総務部 個人情報担当（TEL 078-391-3361 受付時間/平日9:00〜17:00）にご連絡願います。

（200514）